

丸山湿原群保全の会会報

(第 144 号)

発行日：2019 年 (R1) 7 月 17 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住^{いますみ})

E-mail : maruyamashitugengun@gmail.com

何とか梅雨終盤を迎えています。昨年の猛暑がウソのような日が続いていますが、さてこれからどうなるのでしょうか？西日本の大雨情報がよく流れていましたが、西谷方面は多雨とは言えぬ状況。程よいような、足らぬような微妙な天気です。季節感も同様で、植物も何かダラダラと花が咲いたような咲いてないような、不思議な年です。セミは早い気がします。都市部ではクマゼミがかなり前から鳴き、西谷ではアブラゼミやヒグラシが鳴き始めました。普通なのか異常なのか？まーそんなことを言っているのも 1 年の半分以上が過ぎ去っていきました。今をしっかりと生きていかなければ！なんて偉そうなことを言う刹那な私です。

(今住 7 月 16 日作成)

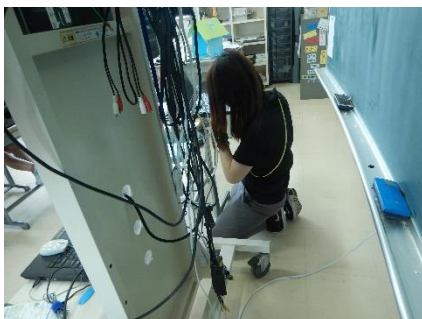
小学校環境学習 ★6 月 13 日 (木) 西谷小学校環境学習・座学 (事前学習)

今年は土曜ファミリー参観ではなくオープンスクールでの実施です。実施の 3 時間目が始まる前に、昨年の 3 年 (現 4 年) を覗いて一緒に授業を受けました。国語と一緒に朗読も。生徒の方がうまい。ずいぶん成長したように感じました。ほんとにすごい！



ノリノリで後半先行

さて今年の出前授業。おじさん 2 人で実施。私と水田さんです。準備で PC セッティングに失敗！私のデバイスのデータをセキュリティの関係か読み込みません。水田さんのデータは読み込みます。私が前半で総論、後半に水田さんが生き物紹介の予定でした。私のデータは？？？やはりウイルスが潜んでいると判断したのか？読み込めそうな PC を校長先生も含め先生方に探していただいている間に生き物紹介を先に実施。



裏で PC 調整中の担任教諭

始まると子ども達の眼が輝きだしました。講師の眼も輝き、話はノリノリ。時間を気にせずどんどん進みます。その間に、先生方のご尽力で何とかデータを読み込める別の PC を用意していただきました。「よーし」と意気込んでいましたが、授業はノリノリで進む進む！生き物の写真と話はやはり面白い！終わったと思ったら授業時間もほぼ終わり？ここで無謀にも周りの雰囲気完全に無視し、本来前半のおじさんは PC を操作していました。そしてノリノリで予定を完全実施しました。担任の先生の授業プランを無視し、さらに次の時間を半分以上使い納得して学校を後にしました。もし来年もやらせていただければ次回はお迷惑をかけまいと反省。反省。反省。



苦勞して現れたセクシーモーリー

小学校環境学習Ⅱ ★6月18日(火) フィールドワーク1回目

実は、16日(日)に団体湿原ガイドを実施しましたが、続きで環境学習の紹介を。

前回の時間無視のお詫びのつもりで今回もさらにノリノリで子どもたちを迎えました。4人の会員で対応。

ご挨拶とメンバー紹介。そしていざ湿原へ！いつものパターンで、湿原までなかなかたどり着かない！



いざ湿原へ

の香り、**タムシバ**(**嘯柴・田虫葉**)や**カンサイスノキ**(**関西酢の木**)を味わい、やっと第1湿原視点場に到着。自信満々に**ハッチョウトンボ**(**ハ丁蜻蛉**)がいると言っておきながら、いない！目につかない！不思議でしたが、いないものは仕方がない。第4湿原へ。まず目に入ってきたのは**トキソウ**(**朱鷲草**)。まだ咲いていました。



採集物の整理と振り返り

ちょっと遠いので興味を示さず。**ハッチョウトンボ**は？いました。数は少ないですが…。大きさ(小ささ?)に感動したかどうかは不明。楽しく活動できたのではないのでしょうか？最後に採集した葉っぱの名前を確認。「バスから見えるため池にある、モリアオガエルの卵塊をバスから見せてやってください」と運転手さんをお願いしてお別れしました。保護者の皆さん先生方お疲れ様でした。卵塊見たか？西谷には結構ありますが…。



ササユリがお出迎え

湿原ガイド 6月16日(日)「**ヤッホの森 湿地をはぐくむ会**」 たつの市より16名
6月22日(土)「**網引湿原保存会**」 加西市より26名

突然の連絡に驚きました。「ヤッホの森 湿地をはぐくむ会」からガイド依頼。お話を聞くと、たつの市にある「隠し田」だった場所を復田ではなく湿地(湿原)として保護しようとしているボランティア団体だそうです。先進的？活動をしている丸山湿原群を参考にしたいと…。



たつの市は播磨の国

やけくそで対応しました。来られると森林インストラクターの方や、昆虫館ボランティアの方もおられ、案内する前に冷や汗がしたたり落ちました。あがいても仕方がないので、いつものように口八丁手八丁で丸山名物「**ツチアケビ**」から。

これが意外にもヒット！菌従属栄養植物はあまりないようで、「よしよし」と心の声。さらに進み「オオウラジロノキ」、これもヒット！湿原に関係ないガイドばかりです。湿原はというと、



風で落ちたオオウラジロノキの葉と実

第2湿原のような感じが「隠し田」の雰囲気似ているようで「こんな感じをモデルと考えよう」とお話があったような。

そして驚くことに、参加者が丸山未確認種を発見！**イチヤク**

ソウ(一葉草)。半寄生の植物で名前の通り葉草。会員が子ども時代、腎臓の薬として飲んだことがあるそうです。それほど珍しい植物ではないようですがなかなか見つけることができない植物です。寄生の割合が大きいのか、突然なくなってしまう。丸山では初見。教えていただいてありがとうございました。



第4湿原。まだトキソウが咲いていた



新発見イチヤクソウ

「ヤッホの森 湿地」はかなり植生調査等も進んでいるようですが、行政支援（特に県）が得られず困っておられる様子。北県民局のありがたさを感じました（ごますりあり）。参考になったかどうか不明ですが、頑張ってください。あっ！「ヤッホ」の意味聞くの忘れた！ヤッホーのヤッホか？（想像です…教えてください〜い！）

そして「網引湿原保存会」の皆さんです。市の天然記念物になった関

係か市の担当者もご一緒。今年は県の天然記念物指定か？丸山・皿池・網引で兵庫県三大湧水湿原（滲水湿原？）と銘打ちましょう！

「網引」さんにはいつも情報を交換し仲良くしていただいています。今回はガイド担当4名。「ヤッホの森 湿地をはぐくむ会」のメンバーも再度同行。「ヒエー！」前回私のガイドを受けた方は別の班へとお願ひしました。

今回もツチアケビ！ありがたいわー。嫌いやけど…助かる。



助けてくれるツチアケビ

した。（負け惜しみ？）昼食を「西谷の森公園」でとられ、午後は皿池湿原へ。

湿原尽くしの研修のようです。あっちはヒメタイコウチがウジャウジャいるしな〜。立地の違いで…しつこいですね。皿池は誰がガイドしてるのかも気になる今日この頃です。「守り人」さんも頑張っておられますからね。うちらも頑張らな。

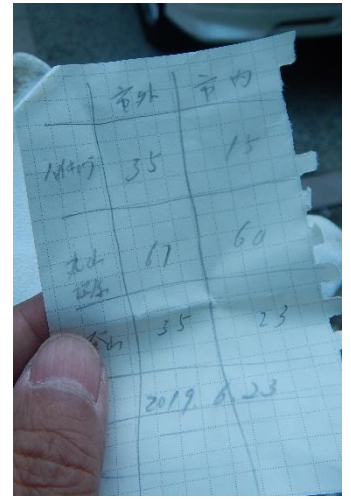
花も咲き始めランらしくなっています。竹筒ポストの説明やサカキ（榊）で神主の真似をしたりして口でごまかし続けるガイド。ノハナショウブ・トキソウの終わりかけを説明。ハッチョウトンボも出ていますが、内心「網引の方が全部多いのでは？」と思いながら自信たっぷりにご案内いたしました。しかし、網引はなんといっても湧水湿原三種の神器「ヒメタイコウチ・ハッチョウトンボ・ヒメヒカゲ」をお持ちですから。立地の違いを楽しんでいただければと思ったガイドで



熱心に観察

定期活動 ★6月23日（日）平場整理作業

今回も平場の雑木処理です。が、いま暑い竹筒ポストの確認。通常カウントは第2土曜。しかし竹筒ポストからカウント用の小石があふれているではありませんか！ご利益ご利益。で中間集計。人数は写真でご確認を。月集計は後半の表に記載。今後も入れる人が増えますように。実際に来ている人が増えていると考えるべきか？



中間集計



シュレーゲルアオガエルとヤマコウバシ

作業は今回も数メーターの進捗。その中で新しい発見もあります。何気なく見ている木。確認すると面白いものが結構生えています。まず**ヤマコウバシ**（山香ばし・別名**モチギ**）。クスノキ科の植物でクロモジ属。名前はクスノキ科（クロモジ属）でわかるように葉から香ばしい香りがするとか。実際は噛んでも？？？でしたが。別名のモチギ（餅木）は乾燥させた葉を餅に混ぜて食べたようです。増量目的？殺菌？さらに不思議が。この木は落葉広葉樹。が、枯れた葉が冬でも落ちない。しかも雌雄別株なのに雌株しか見つからないそうです。しかし結実する。謎いっぱいの木です。シュレーゲルアオガエルは乗っていませんが一度確認してください。竹筒ポスト正面の平場、ボロボロの木です。

もう一つ**アカシデ**（赤紙垂）。種の形が神事に使われる紙垂（御幣）に似ているから命名されたとか。難燃性の木で薪炭林には不向き。武田尾「桜の園」には少しまとまってあるそうです。調べてみると里山としての利用が少なくなり数が増えてきているとのこと。事実かどうかはわかりません。少なくとも西谷には少ない木の一つのようにです。（写真なし）何でも伐ってしまうのではなく、やはり慎重に木を見極めながらの作業が大切ですね。なかなか進みませんが。

★7月13日（土）定期基礎調査・巡回、観察、7名の参加（オブザーバー1名を含む）
（足を痛め参加できない会員1名が激励に来られました。早期回復を祈ります！）

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
丸山	33	75	入口	10:07	25.0℃		
ハイキング	73	85	第3湿原	10:34	【21.8℃】	42.9 μ S/cm	6.5
その他	46	61	視点場	10:55	27.4℃	30.0 μ S/cm	6.4
			第1湿原	11:17	【26.0℃】	34.6 μ S/cm	6.7
			第2湿原	11:42	【24.3℃】	37.5 μ S/cm	6.7

来場者数 計 373 人
 （竹筒ポスト人数）



アギナシ



ミヤマクワガタ交尾中

あかん！紙面が少なくなりました。来場者カウントは伸びています。**アギナシ**（顎無し）開花。**コバントソウ**（小葉蜻蛉草）やミミカキグサ類も開花し始めています。**ミヤマクワガタ**（深山鋏形）が1本のコナラに5つがい見つかりびっくり！サギソウ開花数調査チラシ同封します。27日研修ツアーの空きあり！**次回活動日** 7月28日（日）8月10日（土）18日（日）サギソウ調査 25日（日）